

地理空間ガバナンスと 防災・都市計画の法制度

— 日本モデルの知見とインドネシアにおける社会実装への展望 —

日時
2026年11月5日(木)
11:00 ~ 12:30

会場
明治大学 駿河台校舎
グローバルフロント 403D教室

言語 / 対象
英語 (日本語補足あり)
学生・研究者・一般

講義の4つの検討軸

AXIS 01. 日本側報告

制度と運用知見

地理空間情報活用推進基本法に基づくガバナンスと、防災基本法・測量法下の3D都市データ活用による高度な防災枠組み。

AXIS 02. インドネシア側報告

現地課題と実情

急速な都市化や観光開発に伴う土地利用規制違反、自然災害リスク、GISインフラ統合の現状と課題を検証。

AXIS 03. 統合アプローチ

二領域の法的手法

災害対応と土地利用規制を同一の地理空間情報基盤上で統合する法的手法および違法開発の抑止メカニズム。

AXIS 04. 比較検討・質疑

ガバナンス討論

新技術導入の法的ボトルネック、プライバシー・データ管理リスク、日印両国の法制度比較を通じた意見交換。

主要テーマ・ケーススタディ

日本：防災×空間法

高度GIS基盤の社会実装

- 推進基本法の運用実績
- 3D都市モデル (PLATEAU)
- リアルタイム被災シミュレーション

インドネシア①：バリ島

観光開発と空間計画法制

- 崖地・沿岸の違法建築物問題
- 成文法と慣習法 (Adat) の調整
- デジタルマップによる早期法的監視

インドネシア②：ジャワ島

地盤沈下・高潮への法的対応

- 高潮・洪水リスクマップの統合
- 居住禁止区域指定と移転補償枠組み
- 空間データの政策法務への反映

日印ガバナンス比較

比較項目	日本モデル	インドネシアモデル
法的基盤	地理空間情報活用推進基本法・防災基本法	空間計画法 (Law No.26/2007)・慣習法 (Adat)
主要データ技術	3D都市モデル (PLATEAU)・高精度GIS	統合デジタルマップ (One Map Policy)・ドローン
主な法的課題	データ二次利用・プライバシー・データ更新コスト	中央/地方の権限重複・慣習所有権・土地違法占有

報告者プロフィール

日本事例報告

辻 雄一郎 教授

Prof. Yuichiro Tsuji

所属：明治大学大学院法学研究科 教授

専門：憲法、行政法、環境法、災害法制、比較法学

インドネシア事例報告

バリケシット・ウィディアテジャ 教授

Prof. I Gusti Ngurah Parikesit Widiatedja

所属：インドネシア大学 (UI) 法学部 教授

学位：ワシントン大学 LL.M. / メルボルン大学 Ph.D.

主催・問合せ
明治大学大学院法学研究科
(辻雄一郎研究室)

会場詳細
明治大学 駿河台校舎
グローバルフロント 403D教室

日時
2026年11月5日(木)
11:00~12:30